

# 都市再生整備計画(第2回変更)

高田地区

長野県 長野市

令和5年1月

事業名	確認
都市構造再編集集中支援事業	■
都市再生整備計画事業	□
まちなかウォークアブル推進事業	□

## 目標及び計画期間

様式(1)-②

都道府県名	長野県	市町村名	ながのし 長野市	地区名	たかだ ちく 高田地区	面積	96.0	ha							
計画期間	平成	31	年度	～	令和	5	年度	交付期間	平成	31	年度	～	令和	5	年度

### 目標

- 大目標 災害に強く誰もが住みよい元気なまちを目指す
- 小目標 身近な防災拠点の整備・充実を図り、安心して住み続けられるまちづくりを推進する
- 小目標 地域コミュニティーの活性化と心身ともに健康でいきいきと暮らせるまちを推進する

### 目標設定の根拠

都市全体の再編方針(都市機能の拡散防止のための公的不動産の活用を含む、当該都市全体の都市構造の再編を図るための方針) ※都市構造再編集中支援事業の場合に記載すること。それ以外の場合は本欄を削除すること。

本市は、長野県の北部に位置し、古くから善光寺の門前町、松代城下町として栄えてきており、併せて県庁所在地として商業施設や都市福祉施設、行政施設など多様で高次な都市機能の立地が進み、地域の中枢基幹都市として発展してきた。また、北陸新幹線や高速道路等の高速交通網が整備されているとともに国道18号や国道19号など主要幹線道路が市内を縦横断しており交通・交流の要所となっている。

しかしながら、高度経済成長に伴う自動車社会の進展によって、郊外の平坦部を中心に商業施設や住宅地などの立地が進み都市機能が拡散し、市街地が郊外部に拡大してきており、今後、本格的な人口減少・少子高齢時代を迎えるにあたって、拡大した市街地では福祉、医療、商業等の生活に必要なサービスの提供を維持していくことが困難になりかねない状況となってくる。

こうしたなか、人口減少や少子高齢化の進展など、社会の構造的な変化に対応するため、開発型から保全型への土地利用の転換が求められており、長野市第五次総合計画及び長野市都市計画マスタープランにおいて、地域の特性を活かした都市拠点【広域拠点(長野地区中心市街地)、地域拠点(篠ノ井、松代、北長野)、生活拠点(市街地における地域の「生活の質」を高め生活と密着したサービスを提供する都市機能の集約・維持する地域の中心地)、生活中心地(歴史的に形成されてきた平坦部や山間地域の中心地区)】づくりと、それらを公共交通ネットワーク等で結び、都市拠点が相互に機能的に連携したコンパクトで暮らしやすいまちづくりを推進している。このため、それぞれの都市拠点において、それぞれが担う役割に応じた都市機能の集積を図ることとしている。

今後は、これら全体方針を踏まえた「立地適正化計画」によって、居住機能、都市機能の適正な立地と公共交通等の充実を図り、将来にわたって持続可能な多極ネットワーク型コンパクトシティの形成を目指す。

当地区は、高度経済成長より無秩序な住宅化が進んだことから、道路・公園等の公共施設整備が遅れて、生活環境の低下による地域コミュニティー低下や防災上において支障が懸念されていることから、地域活動の向上と住民の安心・安全の確保の必要性が高まっている。

そのために、公園は、防災備蓄倉庫、耐震性貯水槽を整備することで災害時の防災機能が向上できるとともに、地域住民の交流拠点の場として、交流活動の推進が図られ、地域の活力向上を創出し、居住環境の向上を図る。

都市全体の公的不動産の活用策としては、長野市公共施設マネジメント指針(平成27年7月策定)に基づき、単独目的の用に供する新規施設整備は抑制し、施設の長寿命化や適正な維持管理を行い、既存施設の有効活用を図るとともに、現在の公共施設総量(総延床面積)を、今後20年間で20%縮減することを目指す。今後は、この指針に基づき「公共施設等総合管理計画」によって、既存施設のライフサイクルコストの最適化を図りつつ、施設の統廃合や更新を進め適切な保有や効果的・効率的な運営に取り組み集約型都市構造への転換を図ることとしている。

### まちづくりの経緯及び現況

当地区は、古くは平坦な田園地帯であったが、長野中心市街地(長野地区都市機能誘導区域)まで車で10分程度という好立地により、高度経済成長とともに住宅化が進行したが、無秩序に住宅化が進んだ結果、狭隘な道路が多く、また、公園などの公共施設が十分に整備されていないため、大規模火災・地震が発生した際の一時避難場所がなく、地域住民の安全確保が課題となっている。近年は農地の宅地化やアパート建設が更に進みオープンスペースが減少してきていることから、災害時の拠点確保が重要となっている。

地区内には小規模な遊園地が点在しているものの子供から高齢者まで多様化するレクリエーション需要に対応した公園の整備が必要となっている。

地区は国道18号線のほかJR長野駅と須坂長野東インターを結ぶ長野県道58号長野須坂インター線が縦横断しており道路交通の要衝であることから、沿線には事業所や大型ショッピングセンター、飲食店などが立地し、利便性の良さからマンションやアパートの建設が進み、人口は微増し維持されているものの高齢化や核家族化、ライフスタイルの変化や価値観の多様化による住民相互のコミュニケーションの希薄化や地域活動への関心の低下が懸念されている。

### 課題

- ・オープンスペースの減少や災害発生時の備えが不十分であり、災害時の拠点としての機能を兼ね備えた公園の整備が求められている。
- ・地区内に住民が交流できる拠点が不足しており、地域住民がふれあい・交流できる拠点の整備が求められている。

### 将来ビジョン(中長期)

- 第五次長野市総合計画:本市の都市像を「幸せ 実感 都市『ながの』～“オールながの”で未来を創造しよう～」に定め、「快適に暮らし活動できるコンパクトなまち」を目指すこととしている。
- 長野市都市計画マスタープラン:生活道路の改善等を促進し、防災能力に配慮した良好な住環境を備えた住宅地の土地利用を進めるとともに、防災性を高めた公園の整備を図ることとしている。
- 長野市立地適正化計画:人口密度水準を確保することによる生活サービス施設の持続性を図ることとしている。

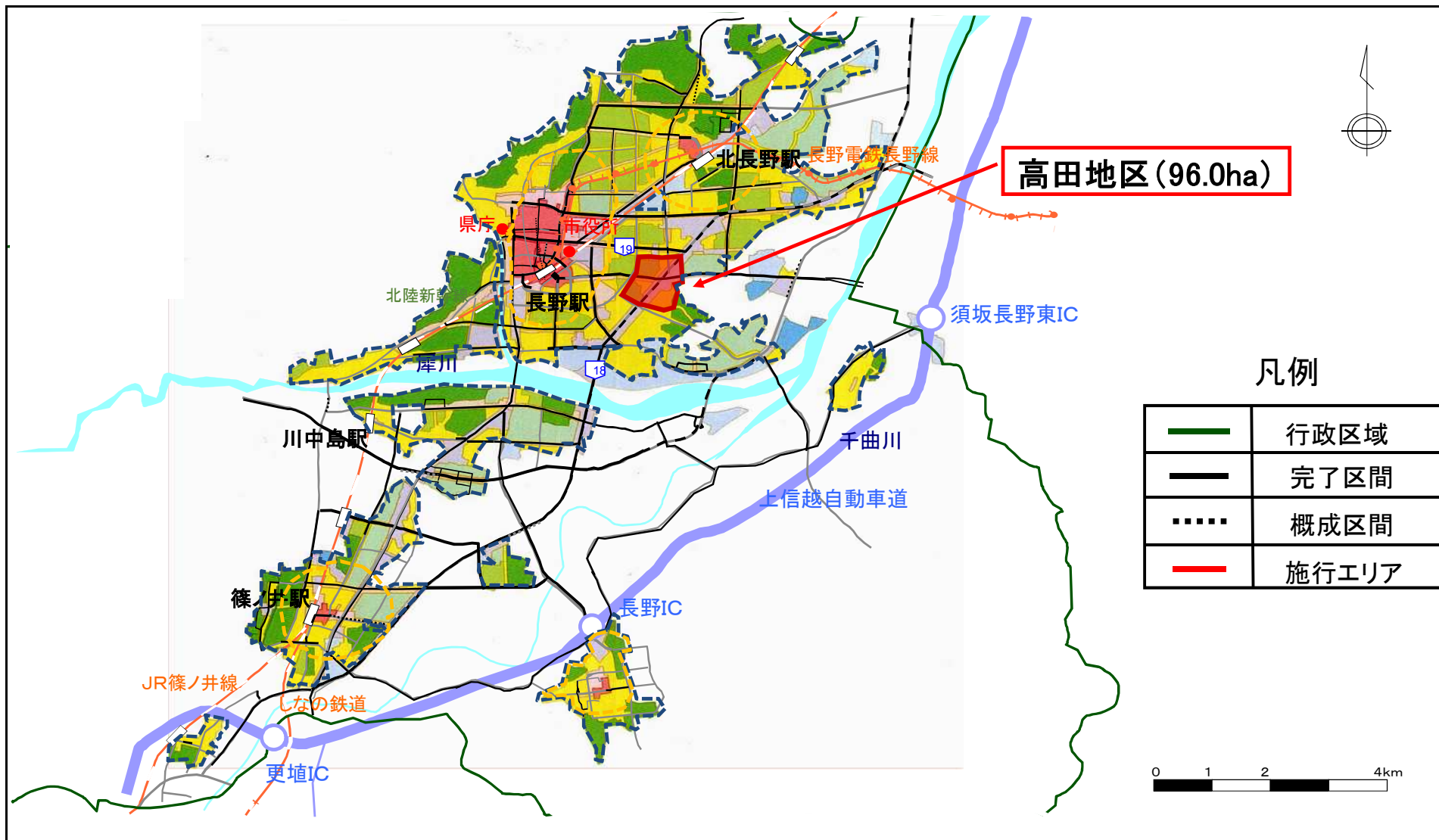


整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>身近な防災拠点の整備・充実を図り、安心して住み続けられるまちづくりを推進する 本地区は居住誘導区域内に位置している。長野市立地適正化計画では、居住を誘導するための施策として、居住誘導区域においては、居住環境の維持、向上に取組むとしており、本計画はこの施策を実現するものである。</p>	<p>道路(長野西884号線外改良)【基幹事業】 公園(南向公園)【基幹事業】 地域生活基盤施設(防災備蓄倉庫)【基幹事業】 地域生活基盤施設(耐震性貯水槽)【基幹事業】 自主防災訓練【関連事業】</p>
<p>地域コミュニティの活性化と心身ともに健康でいきいきと暮らせるまちを推進する 本地区は居住誘導区域内に位置している。長野市立地適正化計画では、居住を誘導するための施策として、居住誘導区域においては、居住環境の維持、向上に取組むとしており、本計画はこの施策を実現するものである。</p>	<p>道路(長野西884号線外改良)【基幹事業】 公園(南向公園)【基幹事業】 運動会【関連事業】 納涼祭【関連事業】 文化芸術祭【関連事業】 3世代交流イベント【関連事業】 どんど焼き【関連事業】</p>
その他	



高田地区(長野県長野市)	面積	96.0 ha	区域	長野市大字高田の一部他
--------------	----	---------	----	-------------



高田地区(長野県長野市) 整備方針概要図(都市構造再編集集中支援事業)

目標	災害に強く誰もが住みよい元気なまちを目指す	代表的な指標	避難場所カバー率 (%)	21.15 (H30年度) →	92.94 (R5年度)
			地域交流イベント参加人数 (人)	740 (H30年度) →	944 (R6年度)
			( )	( 年度) →	( 年度)

